



ALWAYS IN ADVANCE OF TIMES,
DAIDO CORPORATION HAS
STEADILY GROWN BY PROVIDING
SUPERIOR PRODUCTS AND SERVICE.



ほとんどの旧塗膜に
プライマーなしで塗装可能

薄膜弱溶剤2液型アクリルウレタン樹脂系塗床材

エカワート

床優美

YUKA-YŪBI

F☆☆☆☆認定品

非鉛・クロム

ユカクリート床優美は弱溶剤2液型アクリルウレタン樹脂塗床材です。

旧塗膜を選ばず、

ほとんどの旧塗膜にプライマーなしで塗装可能なため、
経済的で工期の短縮が可能です。

弱溶剤型のため、従来の一般的な塗床材に比べ環境にやさしい設計になっています。

特長

- 1 改修性に優れ、ほとんどの旧塗膜にプライマーなしで直接塗装可能です。※1
- 2 塗料用シンナーで希釈できるため、従来の強溶剤と比べ環境に優しく臭気がマイルドです。
- 3 耐候性に優れ、外部にも適用可能です。
- 4 塗装作業性が良好で、どなたでも簡単に塗装できます。
- 5 ホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆(規制対象外)。日塗工登録番号D01217
エチルベンゼン1%以下。

※1 新設コンクリートやモルタルの場合プライマーが必要です。

ユカクリート 床優美プライマーE ホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆ 日塗工登録番号D01280

用途

工場床

倉庫

事務所

廊下

屋外施設

■上塗り適合塗膜(旧塗膜)

旧塗膜の種類(当社品)		系統	直接塗装
アクリル	ボージンコートS	溶剤型アクリル	○ ※2
	床美人	溶剤型アクリル	○ ※2
	ユカクリート クイック	MMA	△
エポキシ	ユカクリート スタンダード	溶剤型エポキシ	○
	ユカクリート 床雅	溶剤型エポキシ	○
	ユカクリート タイル#70	厚膜型エポキシ	○
	ユカクリート タイルローラー用	低粘度ハイビルド型エポキシ	○
ウレタン	ユカクリート ユニ#1000	溶剤型ウレタン	○
	ユカクリート AU	溶剤型アクリルウレタン	○
	ユカクリート RIZE(ライズ)	厚膜型高硬度ウレタン	○
	ユカクリート ソフトA ※3	厚膜型弾性ウレタン	×
水系	水系ボージンコート	水系アクリル	○
	床水樹	水系シリコンアクリル	○
	ユカクリート ミズユカ	水系2液型アクリルウレタン	△

※2 旧塗膜がアクリル樹脂系でも、樹脂の種類によっては膨潤やしわが発生する場合があります。(スチレンアクリル系は塗装不可)

※3 弾性ウレタン塗膜の上塗りには使用できません。

○：直接塗装可能

△：2液型ウレタン系防塵塗料の場合、より付着性を上げるための研磨をして下さい。

(旧塗膜がエポキシかウレタンか判別できない場合は研磨をして下さい)

×：塗装不可

ユカクリート 床優美

YUKA-YŪBI

F☆☆☆☆認定品

非鉛・クロム

可使時間と重ね塗り可能時間及び硬化時間

※硬化時間は歩行可能時間です。フォークリフト走行可能時間は3日以上(20℃)必要です。

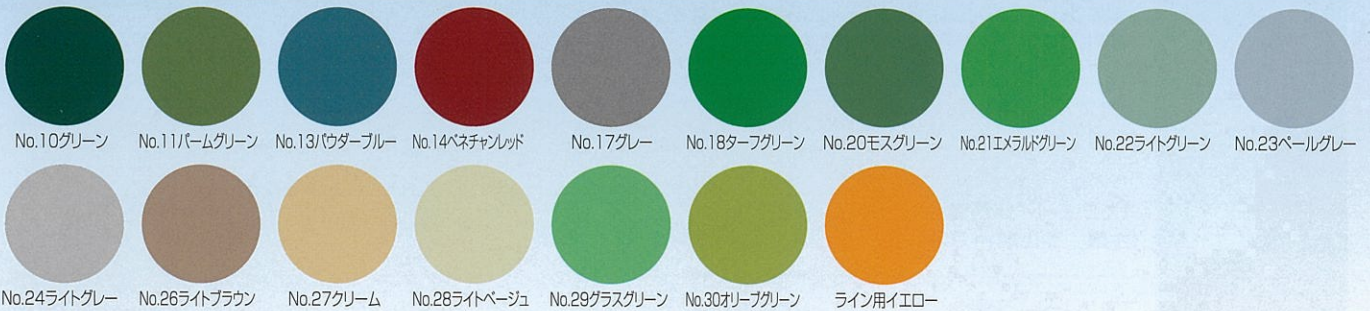
品名		10℃	20℃	30℃
ユカクリート 床優美プライマー-E	可使時間	6時間	3時間	1.5時間
	重ね塗り可能時間	24時間以上7日以内	8時間以上7日以内	5時間以上3日以内
	硬化時間	24時間	16時間	8時間
ユカクリート 床優美	可使時間	6時間	4時間	2時間
	重ね塗り可能時間	16時間以上4日以内	5時間以上4日以内	3時間以上2日以内
	硬化時間	24時間	16時間	8時間

容量と塗装面積

品名	材質	配合比(質量)	容量	塗装面積(m ² /1缶)
ユカクリート 床優美プライマー-E	弱溶剤型 エポキシ	主 剤 4	20kgセット(主剤16kg+硬化剤4kg)	142~167m ² /1回/20kgセット
		硬化剤 1	5kgセット(主剤4kg+硬化剤1kg)	35~42m ² /1回/5kgセット
ユカクリート 床優美	弱溶剤型 アクリルウレタン	主 剤 9	15kgセット(主剤13.5kg+硬化剤1.5kg)	100~115m ² /1回/15kgセット
		硬化剤 1	4kgセット(主剤3.6kg+硬化剤0.4kg)	26~30m ² /1回/4kgセット

標準色

※色見本は印刷のため色調が異なります。※ユカクリート標準色見本帳をご参照下さい。



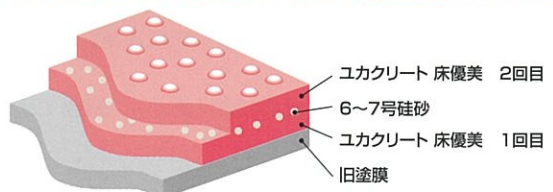
性能

項目	結果	備考
鏡面光沢度	83	JIS K 5600-4-7 60°
鉛筆引っかき値	H	JIS K 5600-5-4 鉛筆引っかき値
耐衝撃性	合格	JIS K 5600-5-3 デュボン式 1/2インチ 500g40cm
耐屈曲性	φ2mm 合格	JIS K 5600-5-1
耐摩耗性	6.5mg	JIS K 5970 テーバー式 CS-17 4.9N 100回転
	148mg	日本塗床工業会 テーバー式 CS-17 9.8N 1000回転
促進耐候性	異常なし	サンシャインウェザオメーター 500時間
耐水性	異常なし	水道水 1カ月浸せき
耐アルカリ性	異常なし	2%水酸化ナトリウム 7日間浸せき
耐酸性	異常なし	5%塩酸 スポット 24時間
ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆	JIS K 5600-4-1 デシケーター法

※塗膜物性の試験結果は実測値であり、保証値ではありません。

コーティング工法 防滑仕上げ

- ユカクリート床優美を塗付し、直後に、6~7号珪砂を0.1~0.2kg/m²を散布して下さい。
- 乾燥後、余分な珪砂を取り除き、ユカクリート床優美を1~2回塗装して下さい。
- ユカクリート床優美と砂散布は特にムラのないよう注意して施工して下さい。



塗替 標準塗装仕様

■コーティング工法 平滑仕上げ

工程	品名 (配合比)	希釈剤 希釈率(質量%)	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗装方法	塗装間隔 (23℃)	
1	下地処理						
	<ul style="list-style-type: none"> ●既存塗膜の状態を確認し、付着の弱い部分をディスクサンダー、皮スキなどで取り除いて下さい。 ●必ず全面をサンドペーパーがけにより目荒しを行い、付着物を除去します。 ●油脂、グリース、タールなどはシンナー又は洗剤などで除去します。 ●ほこり、塵などを清掃して下さい。 						
2	上塗 (1回目)	ユカクリート 床優美 (主剤：硬化剤 = 9:1)	塗料用シンナー 10~20	1	0.13~0.15	はけ ローラー	5時間以上 4日以内
3	上塗 (2回目)	ユカクリート 床優美 (主剤：硬化剤 = 9:1)	塗料用シンナー 10~20	1	0.13~0.15	はけ ローラー	

※養生期間中は出入口を封鎖し、歩行しないように注意します。※歩行可能時間は16時間以上(23℃)です。※フォークリフト走行可能時間は3日以上(23℃)必要です。

新設コンクリート及びモルタル面 標準塗装仕様

■コーティング工法 平滑仕上げ

工程	品名 (配合比)	希釈剤 希釈率(質量%)	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗装方法	塗装間隔 (23℃)	
1	下地						
	<ul style="list-style-type: none"> ●下地コンクリート及びモルタルは金ゴテ仕上げで、十分強度のあるものとします。 ●通常、モルタルは打設後2週間以上、コンクリートは4週間以上の養生が必要です。 						
2	下地処理						
	<ul style="list-style-type: none"> ●含水調査はポリエチレンフィルムを床面に敷き、周囲をテープで密封して翌日(16時間後)開封する手順で行い、床面が黒っぽく濡れたりフィルムに結露したりしていないこととします。また、含水率は、デジタル式水分計で5%以下を目安とします。 ●必ず全面をサンドペーパーがけ(P24~P40)により、目荒しを行い、汚染物やレイタンスなどを取り除きます。 ●油脂、グリース、タールなどは、シンナー又は洗剤などで除去します。 ●必要に応じてクラック、穴などを補修します。 						
3	下塗	ユカクリート 床優美プライマー E (主剤：硬化剤 = 4:1)	塗料用シンナー 5~15	1	0.12~0.14	はけ ローラー	8時間以上 7日以内
4	上塗 (1回目)	ユカクリート 床優美 (主剤：硬化剤 = 9:1)	塗料用シンナー 10~20	1	0.13~0.15	はけ ローラー	5時間以上 4日以内
5	上塗 (2回目)	ユカクリート 床優美 (主剤：硬化剤 = 9:1)	塗料用シンナー 10~20	1	0.13~0.15	はけ ローラー	

※養生期間中は出入口を封鎖し、歩行しないように注意します。※歩行可能時間は16時間以上(23℃)です。※フォークリフト走行可能時間は3日以上(23℃)必要です。
※特殊なコンクリート面(カラークリート、フェロコン、強化コンクリートなど)の場合はユカクリート強化コンクリート用プライマーをご使用下さい(「ユカクリートプライマー下地材」カタログをご参照下さい)。

◎施工上の注意

1. あらかじめ旧塗膜の種類、状態を調査して下さい。
2. 旧塗膜が不明な場合や極端に厚く塗り重ねられている場合は必ず試験塗装を行って下さい。
3. 同一床面では休まず一気に仕上げして下さい。休むと色の差や段差ができることがあります。
4. 施工中は保護手袋を着用して下さい。塗料が皮膚に付着した場合は石鹸でよく洗って下さい。
5. 使用前に電動ミキサーで攪拌して下さい。
6. 主剤と硬化剤の混合は必ず電動ミキサーで行って下さい。
7. 少量を使用する場合は、主剤をよく攪拌してから、主剤、硬化剤を秤で計って使用して下さい。
8. シンナーは指定のものを使用して下さい。気温、風通し等により希釈率は加減して下さい。
9. 上塗り1回目の薄付は避け、規定の塗付量通りに塗装して下さい。
10. 厚く塗りすぎると乾燥が遅れるため、規定の塗付量通りに塗装して下さい。
11. 旧塗膜がアクリル、または水系の場合、下地を侵す恐れがありますのではけ、ローラーを強く、また十字を切る以上に通さないで下さい。
12. 最終塗装の際、毛の抜け難いローラーを使用して下さい。
13. 気温5℃以下や、相対湿度80%以上の施工は避けて下さい。
14. 施工中、養生期間中は換気を十分に行い、火気厳禁として下さい。
15. 材料は直射日光を避け、冷暗所に保管して下さい。
16. 可使時間を経過した塗料は使用しないで下さい。色調変化、光沢低下などの不具合を起こす恐れがあります。
17. 床面に貼り付けたラインテープを取り除く際、塗膜が剥がれる場合があります。
18. 下塗り、上塗りに使用したはけ、ローラー等の洗浄には、ラッカーシンナー又はウレタンシンナーをご使用下さい。